

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 オーク製作所					
代表者名	氏名	藤森 昭芳	役職名	代表取締役 社長		
主たる事務所の所在地	東京都 町田市 小山ヶ丘 3-9-6					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	29 電気機械器具製造業				
主たる事業の概要	半導体生産用の紫外線放電ランプの製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	2,093	2,200	2,004	1,832	1,888
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3,891	4,090	3,761	3,437	3,541
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	4		4	4	4
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	16				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020 年度～	2022 年度
------	----------	---------

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

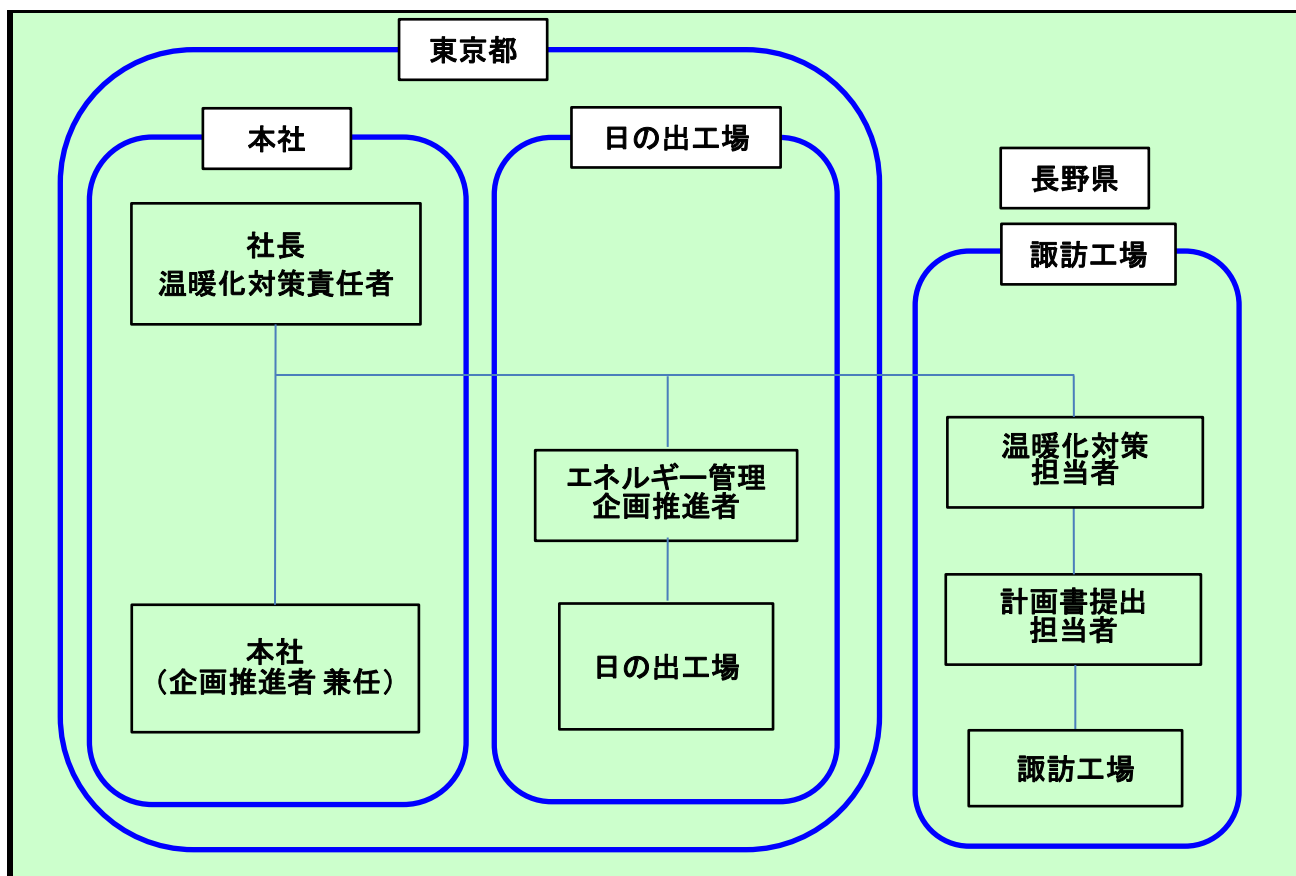
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	場 所 : 工場受付 時 間 : 平日 9:00～17:00 担当部署 : 諏訪総務 連絡先 : 0266-73-1611
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

ISO-14001の「環境方針」に沿った、目標設定、維持、管理

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

マネジメントレビュー	半年毎
月度エネルギー消費記録の配布	毎月

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,891	t-CO ₂	生産量	269.00	単位	MW
2019年度	調整後排出量	3,891	t-CO ₂	基準原単位	14.46	t-CO ₂ /	MW
目標年度	目標排出量	4,090	t-CO ₂	目標原単位	14.01	t-CO ₂ /	MW
2022年度	目標削減率	-5.12	%	目標削減率	3.10	%	
目標設定に関する説明	製造歩留まりの向上、クレーム等の発生削減による生産効率の改善。 生産設備（空調設備含む）の効率的な使用による、エネルギー消費の削減。						
第一年度	排出量	3,761	t-CO ₂	生産量	265.00	単位	MW
	削減率	3.34	%	原単位	14.19	t-CO ₂ /	MW
2020年度	調整後排出量	3,761	t-CO ₂	原単位削減率	1.86	%	
	削減率	3.34	%				
排出量等の増減理由	生産量低下により稼働時間が短くなった。これに伴い、冬季夜間に室内の温度維持に係るエネルギー消費量が削減されたため						
第二年度	排出量	3,437	t-CO ₂	生産量	282.00	単位	MW
	削減率	11.66	%	原単位	12.19	t-CO ₂ /	MW
2021年度	調整後排出量	3,437	t-CO ₂	原単位削減率	15.69	%	
	削減率	11.66	%				
排出量等の増減理由	生産量の増加により、効率的なエネルギーの使用となった。エネルギー効率の悪い品種の生産が落ち、効率の良い品種の生産が増加したため、より大きい削減となった。						
第三年度	排出量	3,541	t-CO ₂	生産量	284.50	単位	MW
	削減率	8.99	t-CO ₂	原単位	12.45	t-CO ₂ /	MW
2022年度	調整後排出量	3,541	t-CO ₂	原単位削減率	13.90	%	
	削減率	8.99	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	基準年度と比較すると、生産数が減ったことでシフト勤務の生産体制が不要となり、給排気、温調運転時間を短縮できたこと、同時に、通常時間中に集中したことで、生産効率が上がったため、削減することができた。ただし、前年と比較すると、生産量の若干の増加があったが、コロナ対策として、換気をしながらの空調を運転したことで、原単位で悪化してしまった。						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	16	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	330202	中間期の冷媒温度管理	2021	5	2020	2
2	エネ起	380752	LEDへの移行	2022	3	2022	2
3	エネ起	380799	人感センサー制御の導入	2021	5		
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,891	1	3,761	1	3,437	1	3,541
1,500k1未満								
合計	1	3,891	1	3,761	1	3,437	1	3,541

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
NF ₃	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	0	0	0	0
合計	0	0	0	0
自動車総数	4	4	4	4
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	一人での出張は、公共機関の利用を推進。
自転車の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	特になし

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input checked="" type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		2019年度
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		1998年度
	名称	ISO-14001	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	使用済み材料の再利用による、廃棄物削減の検討		2017年度

1.5 自由記載欄

製品の効率改善、環境負荷の小さい物質利用の研究、開発
TV会議などを有効利用し、出張等、人員の移動機会を削減する。